



2024年11月8日

各位

会社名 株式会社第四北越フィナンシャルグループ
代表者名 代表取締役社長 殖栗 道郎
(コード番号：7327 東証プライム)
問合せ先 経営企画部長 三島 康人
電話番号 (025) 224 - 7111 (大代表)

「株主還元方針の見直し」ならびに「剰余金の配当（中間配当・増配）」および「期末配当予想の修正（増配）」に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、「株主還元方針の見直し」ならびに2024年9月30日を基準日とする「剰余金の配当（増配）」および「期末配当予想の修正（増配）」について、下記の通り決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 株主還元方針の見直し

(1) 見直し内容

下表のとおり、配当性向を35%程度から40%程度に引き上げ、自己株式の取得については業績や市場環境等を総合的に考慮したうえで機動的に実施する方針へ見直します。

(下線部分は変更箇所を示しております。)

見直し後	現行
<p>当社は、金融グループの公共性に鑑み、将来にわたって株主各位に報いていくために、収益基盤の強化に向けた内部留保の充実を考慮しつつ、安定的な株主還元を継続することを基本方針といたします。</p> <p>具体的には、1株当たり配当金は原則として累進的とし、<u>配当性向は40%程度とします。</u> <u>自己株式の取得は業績や市場環境等を総合的に考慮したうえで機動的に実施します。</u></p> <p>なお、当期純利益の増強を基本としてROE向上に取り組んでいく方針であり、早期に5%以上を達成のうえ、さらに高い水準を目指します。</p>	<p>当社は、金融グループの公共性に鑑み、将来にわたって株主各位に報いていくために、収益基盤の強化に向けた内部留保の充実を考慮しつつ、安定的な株主還元を継続することを基本方針といたします。</p> <p>具体的には、<u>配当金と自己株式取得合計の株主還元率40%を目処としつつ、</u>1株当たり配当金は原則として累進的とし、<u>配当性向は35%程度とします。</u></p> <p>なお、当期純利益の増強を基本としてROE向上に取り組んでいく方針であり、早期に5%以上を達成のうえ、さらに高い水準を目指します。</p>

(2) 見直しの理由

当社の資本・財務戦略の一環として、健全性の維持と収益性の向上とのバランスを勘案しつつ、株主還元の更なる充実により企業価値の向上を図ることを目的に株主還元方針を見直すことといたしました。

2. 剰余金の配当（中間配当・増配）および期末配当予想の修正（増配）

本件見直し後の株主還元方針を踏まえ、本日別途公表しております通期業績予想(上方修正)に基づき、2024年7月26日に公表した2025年3月期の配当予想を下表の通り修正（増配）いたします。

具体的には、株式分割の効力発生前である第2四半期末（中間）の配当を1株当たり90円より22円増配し112円とするとともに、株式分割後の期末配当予想を1株当たり56円（株式分割考慮前では1株当たり22円増配し112円）といたします。なお、本件増配により、2025年3月期の通期業績予想に対する配当性向は40.0%となります。

(1) 剰余金の配当（中間配当・増配）

	決 定 額	直近の配当予想 (2024年7月26日公表)	前 期 実 績
基 準 日	2024年9月30日	同左	2023年9月30日
1株当たり配当金	112円00銭	90円00銭	70円00銭
配当金総額	4,996百万円	—	3,173百万円
効力発生日	2024年12月2日	—	2023年12月1日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当（1株当たり）予想の修正（増配）

	第2四半期末（中間）	期 末	年 間
前回予想 (2024年7月26日公表)	90円00銭	45円00銭 (90円00銭)	— (180円00銭)
今回修正予想 (株式分割前換算)	—	56円00銭 (112円00銭)	— (224円00銭)
当期実績	112円00銭	—	—
前 期 実 績 (2024年3月期)	70円00銭	75円00銭	145円00銭

- (注) 1. 2024年9月30日を基準日とする中間配当金は、分割前の株式数を基準とします。
 2. 2025年3月31日を基準日とする期末配当金は、分割後の株式数を基準とします。
 3. 年間配当金(予想)につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため、上表において「—」と表示し、株式分割前換算での配当金のみを表示しています。

以上